

4月16日：外国人投資家は引き続き売り越し、VN指数は続落

利益確定売りが出たが、不動産株が買われ下げ幅は限定的となり、ベトナム株は小幅安で取引を終えた。

ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は0.68%（8.54ポイント）安の終値1,238.71ポイントだった。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、355銘柄が下落、81銘柄が上昇した。出来高は高水準を維持し、売買高は約9億8,690万株、売買代金は約21兆8,000億ドンとなった。

「金曜日の下げは来週も続くとみられる」（サイゴンハノイ証券（SHS））

証券会社は、今週末にVN指数は1,250ポイント付近で推移する可能性があると予想していた。「同指数の終値が1,250ポイント水準を上回るか下回るかで、来週の方向性が示される可能性がある」（同証券会社の顧客向けレポートにて）

「VN指数は今後1,225～1,232ポイントの下値支持線を試すと予想される」（バオベト証券）

利益確定売りはほぼ全てのセクターに及び、特に素材、銀行、公益、運輸セクターで顕著である。

VN30指数は0.57%（7.33ポイント）安の1,276.87ポイントで取引を終えた。

同指数の組入銘柄のうち、21銘柄が下落、7銘柄のみ上昇した。

2.22%安のビナミルク（VNM）は最も指数を押し下げた。それに続き、ベトナムゴム工業グループ（GVR）が4.32%安、ベトコムバンク（VCB）が1.23%安とそれぞれ売られ、指数下落の重しとなった。

ベトナム投資開発銀行（BID）、VPバンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）、サイゴンビール・アルコール総公社（SAB）、ベトジェット（VJC）といった大型株は全て1%を超える下げだった。

だが不動産、建設株は下げ幅を縮めた。中でもビングループ (VIC) は 1.49% 高と続伸となった。ノバランド不動産投資 (NVL)、ベカメックス IDC (BCM) といった他の銘柄も 5% を超える上昇だった。

ハノイ市場では、HNX 指数は大型株に売りが出たことで 1.02% 安の 293.11 ポイントだった。HNX30 指数は 0.76% 安の 440.43 ポイントだった。

国内勢は 3 兆 8,000 億ドン以上を買い入れ、売買高で 2 億 2,500 万株を超えた。

その半面、外国人投資家は 5352 億 7,000 万ドンを引き続き売り越した。ホーチミン市場で 5,608 億 3,000 万ドン、UPCOM 市場で 34 億 8,000 万ドンを売り越し、一方ハノイ市場では 290 億 4,000 万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。